

令和6年8月21日

八戸市議会

議長 小屋敷 孝 様

民生環境常任委員会

委員長 中 村 益 則

視 察 実 施 報 告 書

本委員会は、次のとおり委員を派遣し、調査視察を実施したので、行政視察等実施要領第2（3）の規定により報告します。

- | | |
|------------|---|
| 1 日 時 | 令和6年7月24日（水）～7月26日（金） |
| 2 視察先・調査事項 | 兵庫県姫路市
(1) こどもの未来健康支援センター「みらいえ」について
(2) エコパークあぼしについて |
| 3 調査結果概要 | 別紙のとおり |
| 4 派遣委員 | 中村 益則
吉田 洸龍
長谷川 ひろゆき
間 盛仁
山名 文世
伊藤 圓子
坂本 美洋 |

○包括的な相談支援体制

思春期から子育て期まで切れ目のない相談支援を提供しており、保健師、助産師、管理栄養士、歯科衛生士、保育士、心理士、精神保健福祉相談員など、多様な専門職が連携し、複合的な課題にも対応できる体制を構築している。

さらに、オンライン相談を実施することにより利用者の利便性を向上させており、より充実した相談体制の構築を図っている。

【R5実績】訪問、電話、面接、オンラインによる相談 893人

・思春期保健相談

心身の健康、性に関する相談、月経異常、思春期やせ、LGBTQ、不登校、ゲーム依存、デートDV、中絶、性被害など

・妊娠・出産に関する相談

授乳相談、予期しない妊娠、不妊・不育症相談、メンタルヘルスケア、出生前検査相談、周産期グリーンケアなど

・子育て相談

発育発達相談、離乳食、卒乳など

○交流事業

子育て世代を中心に多胎児交流事業、ダウン症児の交流事業を実施。

【R5実績】

事業	開催数	参加延数	ピアサポーターによる相談延数
多胎児交流事業	11回	144人	11件
ダウン症児の交流	6回	80人	

○産後ケア事業

・事業運営、実施機関との調整、事業連絡会の企画・運営 など

・産後ケア事業利用申請のデジタル化

電子申請や利用料のキャッシュレス決済に対応している。

【R5実績】産後ケア事業利用者数

宿泊型		通所型		訪問型	
利用人数	利用日数	利用人数	利用日数	利用人数	利用日数
71人	257日	224人	932日	206人	613日



2 兵庫県姫路市（その2）

(1)調査事項 エコパークあぼしについて

(2)説明者 農林水産環境局 美化部 エコパークあぼし

所長 清水 保宏 氏

課長補佐 鷹家 健太 氏

(3)概要

①背景・目的

ごみ問題や環境問題への関心が高まる中、市民一人一人が環境について学び、考え、行動するきっかけとなる場を整備するため、ごみ処理施設だけでなく、リサイクル施設や健康増進施設などを併設した複合的な施設として平成22年にエコパークあぼしを開設。

施設内には、ごみのリサイクルやエネルギー問題、地球温暖化などのさまざまな環境問題について学ぶことができる環境楽習センターが設置されており、より効果的な環境啓発活動を展開している。

②具体の取組

○エコパークあぼしについて

当該施設は、バイオマス発電を導入したごみ焼却施設、多様なごみのリサイクルを図る再資源化施設、ごみ・環境問題が体験を通じて楽しく学べる環境楽習センターをはじめ、健康増進センターなどの施設も備えており、人と環境にやさしい未来型の空間となっている。

・ごみ焼却施設

処理能力 : 402t/日 (134t/日×3炉)

処理方式 : シャフト炉式ガス化熔融炉

・再資源化施設

処理能力 : 100t/日

処理対象物 : 粗大ごみ、プラスチック製容器包装、ペットボトル、紙パック、空きびん

保管対象物 : 剪定木くず、乾電池、蛍光灯

○環境楽習センターを活用した環境学習の推進

i 施設概要

身近なリサイクル活動の見学や体験を通して、楽しみながら環境問題について学ぶことができる施設。エコパークあぼし内の施設をスタッフとともに回遊しながら見学し、ガラス工房等の各工房で体験教室等を実施している。

・構造 : 鉄骨造、地上2階建

・延床面積 : 3,040 m²

・管理 : 指定管理

ii 施設内容

・見学コース「めぐりルート」

ごみ焼却施設・再資源化施設の設備や作業風景を見学しつつ、様々なミッションゲームを行い、楽しみながら環境の大切さを学ぶ。

・自転車再生工房

不用品として回収された自転車や部品をリサイクルした製品を製作

し、新たな資源として再生・活用している様子を展示。

・木工再生工房

木材の寿命の長さを生かし、大型ごみとして回収されたタンスや机、書棚、食器棚等の木製家具を主な材料にして、新たな家具や木工製品等に再生している様子を展示。

・ガラス工房

家庭ごみから出る空ビン等のガラスを利用してキルン、バーナーワークを行い、オリジナルのガラス作品の制作が可能。

iii VRを活用した見学体験

同センター内の各施設や見学コースなどを解説付きでバーチャル体験することが可能。ホームページ内に専用のページを設けることにより、自宅や学校等から見学を体験することができ、市内来訪者に限らず広い範囲で効果的な環境啓発を実施。

iv 同センターの利用実績

平成 31 年度：35,713 人

令和 2 年度：9,386 人（コロナ禍）

令和 3 年度：12,428 人（ ” ）

令和 4 年度：16,527 人

令和 5 年度：16,447 人

○ペットボトルの水平リサイクル（ボトル to ボトルリサイクル）事業

令和 3 年 8 月に、姫路市、遠東石塚グリーンペット(株)、キンキサイン(株)、(株)伊藤園の 4 者でペットボトル資源循環型リサイクル実施に関する事業連携協定を締結し、使用済みペットボトルを新たなペットボトルに再生する水平リサイクル事業を推進している。

エコパークあぼしなどの拠点で回収・選別したペットボトルを、連携している各事業者がそれぞれの役割の中で再資源化、製品化、販売を行っており、これらの一連のサイクルを地域内で完結していることが特徴となっており、資源循環の仕組みを実現している。



所 感	<p><u>兵庫県姫路市（こどもの未来健康支援センター「みらいえ」について）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・同センターは思春期から子育て期までライフステージごとに切れ目のない支援を受けることができるよう思春期保健と母子保健の包括的支援を行っている。 ・通常では、子ども世代と子育て世代では担当する所管課が違う場合が多いところ、一貫した支援ができる取組は画期的で地域に根差した支援につながることも期待される。 ・プレコンセプションケア事業は、若い世代が将来充実した人生を送るための生活や健康に向き合う内容で、小中学生には出前講座で性教育などの実施、高校生にはライフプランニング、社会人には出産、妊娠、メンタルヘルスなどの幅広いアドバイスを講演会等で行っている。このような講演会や研修会の積極的な取組は、世代別で抱える悩みに的確な支援ができる機会になり、有効な事業だと考える。 ・少子化対策室を設置して同センターと連携しており、人口減少の対策に有効な取組になっていることも非常に参考になり、当市においても同様な組織づくりが必要だと強く感じた。
	<p><u>兵庫県姫路市（エコパークあぼしについて）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコパークあぼしは、環境と共生するまちづくりを掲げ、ごみの自主減量や分別に力を入れて取り組んでいる。ごみ焼却熱を利用して発電を行い、溶かしたものをスラグ、メタルとして資源化に努め、空びんやペットボトル等をリサイクルするための再資源化施設を整備している。 ・環境学習センターについても充実しており、順路ごとにクイズなどで楽しく学べる工夫を施している。分ければ資源、混ぜればごみの意識啓発を行い、排出段階でのリサイクル、資源化、減量化の重要性を考えるきっかけづくりにもなっていると感じた。 ・敷地内には公園機能やカブトムシホールがあり、ごみ処理場以外にも楽しめる施設整備を行っており、親子で来る方も多く充実した施設だと感じた。 ・当市においても処理場の老朽化に伴い、建て替え計画が進んでいるが、環境学習施設や公園機能も備えた充実した施設になるよう提案して参りたい。